

令和4年度

事業報告書

認定特定非営利活動法人 全国盲導犬施設連合会

1 事業の成果

「ともに生きる、ともに歩む」を共通の理念に、全国の盲導犬訓練法人施設の連合体として、視覚障害者が盲導犬を使用し自立と社会参加を図れるよう、広く盲導犬の普及啓発、相談、盲導犬無償貸与への助成を実施した。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【47,681】千円)

| 定款に記載された事業名 | 事業内容 | 日時 | 場所 | 従事者人数 | 受益対象者範囲 | 受益対象者人数 | 事業費(千円) |
|-------------|--|------------|---------------------|-------|-------------------------------|---------|---------|
| 普及啓発事業 | ・デュエット15万部、ポスター6千枚を作成配布、店舗等に補助犬同伴可ステッカーを配布した。 | 4月1日～3月31日 | ・募金箱設置店 ・公共施設等 | 職員5名 | ・視覚障害者 ・全国の市民、企業や団体等 | 約31万人 | 11,358 |
| | ・墨字版・点字版・CD版の盲導犬情報を作成・配布した。 | 9月、3月 | ・盲導犬使用者、点字図書館行政機関等 | 職員2名 | ・視覚障害者 | 約31万人 | |
| | ・盲導犬ふれあいイベントの開催 | 5月 | ・全国のスーパー店頭等 | 職員2名 | ・全国の盲導犬使用者 | 約9百人 | |
| | ・寄附・募金箱設置協力企業へ、良い機会を捉えて感謝状を贈呈・郵送した。 | 4月1日～3月31日 | ・寄附・募金箱設置協力企業 | 職員5名 | ・全国の市民企業、団体等 ・寄附・募金箱設置協力企業 | 約9百人 | |
| | ・連合会が「盲導犬利用カード」を作成・配布し、盲導犬事業への理解と支援、普及に努めた。 | 9月～3月 | ・寄附者、関係各所 | 職員5名 | ・全国の盲導犬使用者 ・寄附者・募金箱設置協力企業 | 約9百人 | |
| | ・等身大盲導犬募金箱について、5台の新規導入、6台の修理入替を行った。 | 4月1日～3月31日 | ・全国のスーパー店頭等 | 職員2名 | ・全国の盲導犬使用者 ・全国の市民、企業や団体等 | 約9百人 | |
| 相談事業 | ・DUET誌向けに活動報告書「DUET誌向け通信VOL.3」を300部発行、誌向け会員及び支援企業へ配布し、また、DUET誌向け紹介カードを増刷し募金箱設置企業へ設置依頼を行った。 | 6月1日～3月31日 | ・誌向け会員、寄附・募金箱設置協力企業 | 職員2名 | ・全国の盲導犬使用者 ・寄附者 | 約9百人 | 510 |
| | ・盲導犬貸与希望、入店拒否、使用者相談、事業者・市民相談など174件を受付対応し、具体的な解決を図った。 | 4月1日～3月31日 | ・事務局相談室 | 職員5名 | ・視覚障害者 ・全国の市民、企業、団体等 | 約31万人 | |
| | ・市民からの盲導犬ユーザーなどへのメール通報に | 4月1日～3月31日 | ・事務局相談室 | 職員5名 | ・全国の盲導犬使用者 | 約9百人 | |

| | | | | | | | |
|------------------|--|--|--|----------------------------|---|---|--------|
| | ついて、苦情解決対応フローチャートに沿って各施設と連携して解決に努めた。 | | | | ・視覚障害者 ・全国の市民、企業団体行政等 | 約31万人 | |
| 資格認定事業 | ・盲導犬育成の担い手である訓練施設職員を対象に資格認定審査会を開催し、盲導犬歩行指導員3名、盲導犬訓練士5名の計8名を資格認定した。 | 8月1日～ 3月10日 | ・訓練施設を認定審査会場として学科・おライによる実技審査と面接を実施 | 職員3名 審査員8名 面接員3名 | ・盲導犬育成 訓練施設職員 (受験者10名) | 10名 | 410 |
| 職員養成支援事業 | ・盲導犬歩行指導員等資格認定審査申込者を対象に、スクリングとして、加盟施設相互研修事業へおライでの参加、及び資格認定委員会にて事例発表を行わせた。 ・加盟施設職員研修として「①対応困難ケース、②ルーム対応、③盲導犬ハビープのケア、④消防訓練時の犬の避難、⑤犬舎管理」の5事業を実施した。 | 8月30日 2月7日 3月2日 ①8月30日 ②2月7日 ③9月9日 ③12月3日～4日 ④2月24日 ⑤2月24日 | すべておライ ①両日おライ ②おライ ③九州盲導犬協会 ④おライ ⑤おライ | 職員2名 職員2名 | ・盲導犬育成 訓練施設職員 ・盲導犬育成 訓練施設職員 | 10名 ①39名 ②29名 ③20名 ④21名 ⑤19名 | 843 |
| 使用者団体協力事業 | ・今年度は新型コロナ禍のため、全日本盲導犬使用者の会(団体賛助会員)総会にお委員としての派遣は行わなかった。 | なし | なし | なし | なし | なし | 10 |
| 情報交換及びネットワーク構築事業 | ・訓練施設と盲導犬育成普及に向けた協議(運営委員会)を5回開催した。 ・日本盲人社会福祉施設協議会 自立支援施設部会盲導犬委員会の「令和3(2021)年度盲導犬訓練施設年次報告書」の製本を行い、関係各所へ発送を行った。 | 4月1日～ 3月31日 5月 | ・おライ5回 ・事務局 | 職員5名 施設職員8名 職員5名 | ・全国の盲導犬使用者 ・盲導犬育成 訓練施設 ・盲導犬育成 施設11施設等 | 約9百人 | 1,002 |
| 財政基盤支援事業 | ・盲導犬育成訓練施設の盲導犬無償貸与事業にかかる費用の一部助成・補助を6頭分を行った。 ・フォローアップにかかる費用の一部助成を643頭分を行った。 | 4月1日～ 3月31日 | ・盲導犬育成 訓練施設 | 職員2名 | ・全国の盲導犬使用者 | 約9百人 | 33,500 |
| 調査研究事業 | ・厚生労働省より「盲導犬減少」について相談を受け、加盟協会に「代替え理由」について調査依頼を行った。 | 9月29日 ～3月31日 | ・事務局 | 職員2名 | ・全国の盲導犬使用者 ・盲導犬育成 訓練施設 | 約9百人 | 48 |
| 国際交流事業 | ・新型コロナ禍のため、今年度は行わなかった。 | なし | なし | なし | なし | なし | 0 |

| | | | | | | | |
|------|--------------|----|----|----|----|----|---|
| 顕彰事業 | ・今年度は行わなかった。 | なし | なし | なし | なし | なし | 0 |
|------|--------------|----|----|----|----|----|---|

(2) その他の事業

(事業費の総費用【 0 】千円)

| 定款に記載された事業名 | 事業内容 | 日時 | 場所 | 従事者人数 | 事業費(千円) |
|-------------|----------|----|----|-------|---------|
| 盲導犬グッズ販売事業 | 実施しなかった。 | なし | なし | なし | 0 |